

### ◎現地スタッフからの便り

#### ドクターサーブとの 約束を果たすために

PMS副院長／ジャラバード事務所所長  
ジ Ау ル ラ フ マ ン

皆さま、こんにちは。PMSのドクター  
ジアです。

ご支援くださっている皆さまに私たちP

MSの活動状況をお伝えいたします。

#### ナンガラハル州の全般的状況

二二の郡からなるナンガラハル州は全般的に安全で、住民は何ら恐れることなく州内を移動出来ています。これまでのところ、治安を脅かすような事件は一つも起きていません。唯一、雇用不足と深刻な干ばつによる経済問題が人々に将来への不安を抱かせています。各援助団体の支援縮小、アフ

ガン資産凍結なども経済不安の要因です。市場には十分な物資があるのに、住民はそれを買うお金がないという状況です。

今年も雨と雪が少なく、国連報告によると、干ばつはアフガン国民の命に多大な影響を及ぼすだろうとのことです。農民は地下水をポンプで汲み上げて農業に利用していますが、この地下水も二〇〜二五mほど水位が下がっており、いずれ井戸が涸れて甚大な災害につながると懸念されます。

二〇二四年を迎え、ペシャワール会によって各事業の新予算が承認されたので、州知事からPMSのプロジェクトに対して署名をもらいました。PMSの今年の事業が州政府に認可されたこととなります。州知事は、現在の厳しい状況下でPMSが活動を継続していることに感謝の意を表されました。

**医療プロジェクト——ダラエヌール診療所**  
冬に最も多い症例は呼吸器系疾患です。

検査室では一日三〇〜四〇人の患者に検査（血液、尿、便）を実施しています。また、一月に十〜十二件の出産にも対応できるようになってきました。

ワクチン部門では、ユニセフと協力して乳児や児童を対象に予防接種を積極的に実施、結核対策も行なっています。また外傷患者も多く、診療所の機能は多岐にわたります。

去年は診療所の排水設備が大々的に損傷したことを機に、手狭になってきた診療所を多少改装しました。まず清潔な飲料水確保のための井戸掘りです。以前は手掘りの井戸でしたが、一昨年来の集中豪雨で汚水が流入するようになり、水は煮沸して使っていました。昨年ボーリングで掘削し直して、衛生的に使えるようになりました。分娩室や出産後ケアの部屋、検査室、外傷患者の処置室は、壁と床にタイルを貼って清潔な環境を保持できるようにしました。トイレと排水設備も新しくしました。

一九九一年開設のこの診療所は、診療機能が増えるにつれ、増築して敷地面積ギリギリまで使っています。今回の改装工事の際には薬局やナースングルーム、処置室などに戸棚を新調し、使いやすく収納量を増やせるように工夫しました。

ハンセン病事業について、ナンガラハル州保健局長と協議をしました。ドクターサーブ村上やシスター藤田も同席されました。アフガン東部にはハンセン病患者を診断・治療する医療システムがないので、同局長は私たちの話に大変関心を示し、どんな協力もすると約束してくれました。そこでハンセン病ケアを進めるために適切な場所が必要だと伝えたところ、局長自ら候補地を案内してくれました。そこは麻薬常習患者用の病院の広大な敷地内で、シスター藤田と一緒に視察しました。他にも候補地があるとのこと、現在保健局長からの連絡を待っているところです。

中村哲医師の著作等  
(価格は税込)

**アフガン・緑の大地計画**

Peace (Japan) Medical Services & ペシャワール会  
B5判並製・256頁・オールカラー 1700円

好評発売中!

**わたしは「ゼロ弾きのゴージュ」**

中村哲が本当に伝えたかったこと 1760円

**天、共に在り** 1760円

アフガニスタン三十年の闘い  
NHK出版 東京都渋谷区宇田川町41-1  
☎03(3464)7311

**希望の一滴**

中村哲、アフガン最期の言葉  
A5判192頁オールカラー 1650円

西日本新聞社 福岡市中央区天神1-4-1  
☎092(711)5523

**アフガニスタンで考える** 726円

～国際貢献と憲法九条～  
**人は愛するに足り、真心は信ずるに足る** アフガンとの約束  
中村哲／澤地久枝(聞き手) 1078円

岩波書店 東京都千代田区一ツ橋2-5-5  
☎03(5210)4000

医者、用水路を拓く 1980円

ペシャワールにて 1980円

ダラエ・ヌールへの道 2200円

医は国境を越えて 2200円

医者 井戸を掘る 1980円

辺境で診る 辺境から見る 1980円

石風社 福岡市中央区渡辺通2-3-24  
☎092(714)4838

**ほんとうのアフガニスタン**

1650円 光文社  
文京区音羽1-16-6 ☎03(5395)8116

医者よ、信念はいらないまず命を救え!

1980円 羊土社  
千代田区神田小川町2-5-1 ☎03(5282)1211

アフガニスタンの診療所から

814円 ちくま文庫  
台東区蔵前2-5-3 ☎03(5687)2680

**映像記録DVD**

**荒野に希望の灯をともし**

～医師・中村哲の35年の軌跡～  
[2021年発売] 2970円

アフガニスタン [16年発売] 2970円

用水路が運ぶ恵みと平和

アフガニスタン [12年発売] 2750円

干ばつの大地に用水路を拓く

[企画]ペシャワール会 [製作]日本電波ニュース社



ダラエヌールの医療職員たちとジア医師（右から4人目）  
（2024年1月25日）

この件については日本の本部と協議を重ねて進めていくこととなります。ペシャワールでの病院時代からハンセン病に取り組んでいたダラエヌールの医療職員たちは、次世代の育成に力を注ぐと張りきっています。

### 農業プロジェクト——ガンベリ試験農場

ガンベリ試験農場はスムーズに運営されています。二〇二三年は小麦七六トン、米三二トン、レモン、オレンジ、スイートオレンジは合計二六二トン、牛乳二万六千キロ、蜂蜜一〇六キロを収穫しました。ガンベリ試験農場だけで様々な種類の果樹七五万本が植えられています。

また特記すべきは、ガンベリの一ジェリブ（〇・二ヘクタール）の土地にサツマイモ

の栽培をして良い結果が出たことです。今後シェイワ、ベスード、ホギヤニ、ソルフロッド、コット郡などでも栽培を普及させたいと考えています。

### バント用水路建設

コット郡はスピングル山脈をはさま、パキスタンとの国境付近に位置しています。丘陵地帯と未開墾の岩石砂漠地帯が大半を占めています。米・NATO軍が駐留していた二〇年間、コット郡は戦争の前線地帯でした。住民は安全な場所を求めてコット郡から避難していましたが、タリバン復権後、治安が改善し村に戻って来ました。

住民は復興事業という言葉に馴染みがありませんでしたが、彼らが農業に復帰し自ら耕して食べ物を得られるようにするため、二〇二二年十月にPMSは灌漑事業に乗り出しました。

同事業の詳細は以下の通りです。

- ・ 事業地…ナンガラハル州コット郡
- ・ 着工日…二〇二二年十月一日
- ・ 完工日…二〇二四年三月三十一日
- ・ 用水路…全長四三〇〇m、幅一・五〜二m、高さ一m

- ・ 水源…スピングル山脈コット川および湧水
- ・ 河川から必要な水量を得るための取水堰…河川内の三〇m×一〇〇mの範囲に直径一m以上の巨石を斜め湾曲状に敷設。
- ・ 取水堰上下流側の一kmにわたる両岸の護岸…既存の農地を保護するため巨礫で覆

われた護岸堤を構築。

- ・ 植樹・樹木と果樹二万本。堤や用水路の保護及び緑化のため。
- ・ 貯水池…コット川および湧水の貯留用に容量二五〇〇m<sup>3</sup>の小貯水池を建設。貯留した水は農業用水に使用される。また、余剰水（洪水時の水を含む）と雨水貯留用として、丘陵地帯の斜面に土を盛り、締め固めて、容量八万二千m<sup>3</sup>の大貯水池を建設。

この事業によって、五七〇ヘクタールが農地として耕されることとなります。

### タンギトクチャー事業

クナール河で発生した大洪水の影響で、ベスード地域の農地を灌漑しているタンギトクチャー用水路の一部が崩壊。ナンガラハル州とクナール州、ヌーリスターン州をつなぐ国道が崩落する危機に直面していました。ナンガラハル州知事と経済局長から、PMSは十分な経験を有しており、道路被災箇所はPMSのマルワリードII用水路の対岸にあるので、道路の補修工事をして欲しいとの要請がありました。

この道路が崩壊した場合、PMSとしてもガンベリ農場、診療所、マルワリードI堰、シェイワ、シギなど各事業地へ出向けなくなってしまう。PMS事務所はこの件を日本の本部と共有し、本部が緊急事業としてこの改修工事を承認し、即時着工を決めました。



念願の増設が完了した、マルワリードI用水路の取水門。  
(2024年1月24日)

国道わきに埋め込まれたタンギトークチI用水路の二・五km地点の護岸壁一二〇mが洪水で洗掘され、十六m×三m×二mの鉄筋コンクリートのボックス（土管。12頁参照）四個がクナル河に落下していました。PMSは二〇二三年十月七日、同用水路修理工事を開始。まず用水路の幅五m、長さ六四mの基礎部分にライニング（覆工）を施し土管を元の位置に戻した後、クナル河から採取した砂利で埋め固めました。さらに同部分にクナル河の河床から七mの護岸壁を造り、幅四mのステップを設け、国道の高さに合わせた階段状の護岸壁を長さ一二〇mにわたり砂利や巨礫きわだを使用して建設しました。

もう一つ重要な工事は、クナル河の河道

をもとに戻すため、河の中央に移動した大砂州を割って河道（長さ三五〇m、幅四〇m）を造ることです。以上の作業が二月末に全て終了し、現在は護岸壁に植えられた五五〇本の樹木への水やりのみが行われています。

#### バルカシコート取水堰、 マルワリードI堰・用水路の改修工事

マルワリードI堰の改修事業は、ドクターサーブ中村がお亡くなりになる前日の二〇一九年十二月三日に始められました。

ドクターサーブ中村は、この計画と上流のバルカシコート取水設備の建設を同時に開始される予定でした。バルカシコート取水設備は毎年の洪水で取水が困難になっており、長い間村人は困っていました。それまではエンジニアファヒームに小規模の応急処置を任せ、何とか取水が出来るようになっていました。

ドクターサーブはマルワリードの改修工事と並行して、このバルカシコート既存用水路をPMS取水方式で建設することをエンジニアに任せました。そして、自分は時折見回りをするだけ、と言われました。しかしこの計画を見ることなく先生は亡くなってしまわれました。

その後、PMS職員が最初のステップとしてこのプロジェクトに工期二年間の計画で着手、予定通り二〇二二年九月に完工させ、ドクターサーブとの約束を果たしました。

同時期に、マルワリード用水路床面のラ

イニングを一部施工しました。このライニングは送水停止を伴うため、農民との話し合いのもと、作物優先で水需要の少ない時期に、それも何区間にも分けて作業をしなければならぬので長い期間を要します。

バルカシコート事業が完工して直ぐにバラコット用水路建設を開始しました。そこでの主要工完了と同時に、PMSはドクターサーブが二〇一九年に開始しようとしていた、マルワリード最大の改修工事である堰の改修と取水門の増設工事を二三年十月三日に着工しました。やっとここまでの来たのです。十一月になると灌漑地三千ヘクタールもの農地で一齐に麦の種まきが始まりました。完全に送水を停止することなく工事は進められ、二月四日に全ての作業を終了することが出来ました。この改修計画では用水路のライニングを一部残し、今年十二月には完工する予定です。

マルワリードI改修工事の概要は以下の通りです。

- ① 取水門…間口を二基増設
- ② 用水路…取水門幅に合わせて門から五〇mの距離を拡幅。十二・六km地点までライニング
- ③ 土砂吐き…堰にコンクリート製土砂吐き・可動堰を建設。四門で各幅二m、深さ二・二m、長さ二六mを設置。土砂吐きの総面積は八八〇m<sup>2</sup>。また、取水門および土砂吐きの前面床面三五〇m<sup>2</sup>にコンクリート敷設

以上、PMSの活動の現況です。  
日本からいつも変わりなくご支援くださ  
っている全ての方々に心からの感謝を申し

上げます。今後とも何卒よろしくお願い申  
し上げます。皆さまのご健康とご多幸をお  
祈りいたします。